

2025 年度水稲関係 生育調節剤試験判定結果

公益財団法人日本植物調節剤研究協会 技術部

2025 年度水稲関係生育調節剤試験成績検討会は、2025 年 12 月 16 日（火）に、Microsoft Teams を用いた Web 会議において開催された。この検討会には、試験場関係者 26 名、委託関係者 22 名ほか、計 66 名の参集を得て、登熟向上を

目的としたもの 3 剤（適用性 10 点）について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果については、次の表に示す通りである。

2025 年度水稲関係生育調節剤試験 判定結果

< 登熟向上 >

No.	薬剤名 有効成分 [委託者]	ねらい	判定	判定内容
1	KUH-833F(L) フロアブル プロヘキサジオンカルシウム塩:1% [クマイ化学工業]	高温登熟障害(登熟歩合の低下, 白未熟粒の発生)の軽減効果を確認する。	継	継)効果・葉害の確認
2	イソプロチオラン 1kg 粒 イソプロチオラン:36% [日本農薬]	①割れ粒発生軽減効果の検討 ②高温による胴割れ米発生軽減効果の検討	実・継	実)登熟向上 ・出穂10～20日前 ・1kg/10a ・湛水散布 継) ・高温登熟下での品質向上効果(白未熟粒等発生軽減)の確認 ・割れ粒, 胴割れ米発生軽減効果の確認
3	イソプロチオラン 乳 イソプロチオラン:40% [日本農薬]	①登熟向上効果の検討(1,000倍希釈, 散布水量100L/10a) ②割れ粒発生軽減効果の検討 ③登熟期の胴割れ米発生軽減効果の検討	実・継	実)登熟向上 ・穂ばらみ期～穂揃期 ・1000倍液150L/10a ・茎葉散布 継) ・高温登熟下での品質向上効果(白未熟粒等発生軽減)の確認 ・割れ粒, 胴割れ米発生軽減効果の確認